Jazz Interview Vol.57

★デンマーク出身の名ベーシスト & コンポーザー★

トーベン・ヴェスタゴー【Torben Westergaard】

Photo by Boe Larsen

北欧デンマークが誇るベーシストで作曲家としても一目置かれているトーベン・ヴェスタゴー。自身のユニットでコンスタントに作品を発表し続け、本誌でも紹介させてもらっているが、毎回独自のコンセプトや独特の世界観で聴くものを楽しませてくれている。2018 年 9 月に発表したトリオ作品『ハート・チューンズ』でも新境地を見せてくれたばかりだが、日本で「平成」から「令和」へと元号が変わった直後、今度は新たなプロジェクトで驚かせくれた。“ 桜吹雪 ” という意味を持つ最新アルバム『Kirsebærsne』では、自身が全曲でヴォーカルを披露。「令和」にもぴったりの素敵な作品を発表したばかりのトーベンに語ってもらった。

【2019 年 5 月取材・文：加瀬正之】

♪ " 桜吹雪 " という意味の最新アルバム『Kirsebærsne』は、とても素敵なサウンドで新たな一面を見せてくれていますね。桜はとても日本的ですが、どのようにしてこのアルバムとプロジェクトは誕生したのですか？

TW：有名なデンマークの児童図書の作家であるティナ・サクラ・ベスレが音楽に歌詞を付けてくれたんだ。彼女は桜の花が大好きだから、自分の名前の一部にも取り入れたんだ。それ以外にも、デンマークではその優れた色合いや美しさもあって日本の桜の花がとても人気なんだよ。『Kirsebærsne』は曲名の 1 つで、5 月に雪のように降る桜の花っていう意味を持つんだ。

♪ あなたはこのアルバムで全編に渡って歌っていますが、おそらく初の試みだと思います。歌はいつ頃から歌い始めたのですか？　また、いつか歌がメインのアルバムを発表してみたいと思っていたのです？

TW：そうだね、アルバム丸ごとシンガーとしてリリースしたの初めてだね。正直なところ、こんな時が来るなんて思ってもみなかったよ（笑）。プライベートやデモを作成する時は、いつもたくさん歌っていたんだけどね。それ以外に、デンマークの文化には再会する時に、団結力を高めるために歌を歌う風習があるんだ。リード・シンガーとしてステップアップすべく、正に課題に直面する時だったようだね。

♪ アルバムに参加したミュージシャンとのツアーの予定はありますか？

TW：もちろん！　既にデンマークで幾つかのコンサートが予定されていて、他の場所も追加されるといいんだけどね。

♪ 前作『ハート・チューンズ』も素晴らしいアルバムで、ストーリー性があって幻想的で独特の世界観を持っていましたね。このアルバムは自身のキャリアの中でどのような作品になりましたか？

TW：『ハート・チューンズ』はもともと心臓手術後の患者の回復を見込む意味で病院から委託されて書いたものなんだ。でもこの音楽には聴衆がいることを知ったから、公にもリリースすることに決めたんだ。その理由はリスナーの人達にも心安らぐ音楽を聴ける場所を設けたかったんだ。

♪ 以前ニューヨークからバンドと来日して、東京と神戸を訪れたそうですが、日本のイメージと前回の来日で特に思い出に残っていることがあれば聞かせて下さい。

TW：そう、何年も前に日本で 10 日間過ごしたことは大きな幸運だった。正にいつも見ていた夢が叶ったような感じで、今も禅や武道や美学に魅了されているんだ。音楽に対する観客の誠実な関心、おもてなしの精神、信じ難い食の文化、富士山やお寺巡りなどの思い出だね。あと、地下鉄の表示が全く読めなかったこともね！（笑）

♪ 子供の頃はどんな音楽を聴いていたのですか？　また、その頃お気に入りだったミュージシャンは誰ですか？

TW：私の育って来た環境にはインターネットが存在しなかったから、地元の図書館に行ってジャケットにギターが写っている全てのレコードを聴いたんだ。だから、最初のお気に入りのミュージシャンの何人かは、マディ・ウォーターズや B.B. キングやエリック・クラプトンのようなブルースのミュージシャンだったんだ。

♪ ベースを弾き始めたきっかけとアップライトベースについて聞かせて下さい。

TW：10 代の頃はピアノを弾いていて、ベースは 16 歳の頃から弾き始めた。それから数年後、プロ用の楽器としてベースに集中することに決めたんだ。アップライトベースは時々弾いていたんだけど、肩の怪我のために最終的に断念したよ。

♪ 強い影響を受けたベーシストを 3 人挙げて下さい。

TW：スティーヴ・スワロウ、ポール・チェンバース、ジャコ・パストリアス。

♪ 本誌のタイトルはリロイ・ヴィネガーのニックネームから付けているのですが、彼のアルバムを聴いたことはありますか？

TW：ああ、勿論あるさ。彼はジャズの伝統の基礎を築いた偉大なミュージシャンの 1 人だね。

♪ 作曲はどのようにしているのですか？

TW：伴奏なしで歌ったり、ピアノを弾いたり、ベース、あるいはギターを弾いたりしながらかな。

♪ デンマークのジャズシーンや音楽シーンはいかがですか？

TW：若い世代の間ではジャズに対する新たな関心が見られるし、現在のデンマークの音楽シーンはエキサイティンな新しい音楽やミュージシャンで溢れていてとても活気に満ちているよ。

♪ 音楽以外に特別な趣味はありますか？

TW：アルゼンチン・タンゴを踊ること！

♪ これまで日本人のミュージシャンとの共演歴やお気に入りの日本人ミュージシャンはいますか？

TW：5 年半ニューヨークに住んでいたんだけど、その時は素晴らしいベーシストの武石務がいて、彼とは1年間ルームメイトだったんだ。当時の友人には、ギタリストの HARU（高内春彦）やフルート奏者の井上信平がいたね。ここデンマークには素敵なピアニスト平林牧子がいるよ。

♪ 今年新たなレコーディングやアルバムリリースの予定はありますか？

TW：現在、3 つのプロジェクトに取り組んでいるんだけど、1 つは他のアーティストが歌うもう 1 つのヴォーカル・プロジェクト。それとベースループを用いたレコーディングに前作『ハート・チューンズ』の続編。少なくとも 3 つのプロジェクトのうちの 1 つは 2019 年にリリースされるはずだよ。

♪ 夢や目標は何ですか？

TW：音楽を通して、あるいは世界中に音楽を通して影響をもたらし、社会に貢献すること。

♪ 最後に、The Walker's 読者と日本のファンにメッセージをお願いします。

TW：音楽という共通の趣味を通して、平和に交流できることを嬉しく思うよ。音楽は民主的だから、国境や民族性、社会的地位や年齢、性別を超越できるからね。

HP ⇒ https://torbenwestergaard.com

トーベンのハートフルな世界観が広がる傑作

ハート・チューンズ
トーベン・ヴェスタゴー

TWMUSIK-014
(Digital format)
2018 年 9 月 13 日発売

トーベンが子供達に捧げ歌う最新アルバム

Kirsebærsne
トーベン・ヴェスタゴー

© 2019 Torben Westergaard
(Digital format)
2019 年 5 月 7 日発売